

令和4年度外務大臣表彰式（第1回）：大使挨拶

本日は、ブラジル独立200周年の節目に、令和4年度外務大臣表彰授与式をこのように開催できることを大変嬉しく思います。

今回の外務大臣表彰においては、当館管轄地域から4名が受賞されました。本日は、アンジェロ・カワカミ・オカムラ氏、河野賢二氏、ネルソン・カズオ・ナカムラ氏へ授与いたします。外務大臣表彰の受章、誠にありがとうございます。

それでは、3名の皆様の御功績について紹介させていただきます。

アンジェロ・カワカミ・オカムラ氏は、リオ・オリンピック・パラリンピック特別補佐機関陸軍調整官として、サイバー・セキュリティ等の新しい時代の脅威に対応する準備を行い、その教訓を東京オリパラ実行委員会調査団に申し送り、安心・安全な東京大会の実現に貢献しました。また、ブラジルの駐在武官としてスペインに勤務した際、日系人として日本大使館とスペイン国防省の関係を取り持ち、日本大使館の業務に協力しました。更にサイバーコマンド司令官及び伯陸軍防衛・産業・革新学会システム中央事務所調整官を務めた際には、日本企業とブラジル陸軍の連携に貢献しました。

河野賢二氏は、日本の福岡で生まれ、1960年、6歳のときにご家族と共にブラジルに移住されました。日本企業の通訳や現地法人責任者を経て、1994年、ケンブリッジ・コンサルタントを設立されました。河野氏は、ブラジルにおける唯一の日系コンサルタント会社の代表として、日本の政府や企業とともに、ブラジル経済の発展に寄与する多くのプロジェクトに携わってこられました。例えば、日本企業が建設に参画したツバロン製鉄所に係る債権回収や、州南部農村電化計画に対する円借款供与の際のゴイアス州政府・日本政府間の交渉が挙げられます。また、2008年の北海道洞爺湖サミットに参加していた当時

のルーラ大統領にも通訳として同行されました。河野氏は、これらの取組を通じて、日伯両国の友好の絆を更に強固にしてきました。

ネルソン・カズオ・ナカムラ氏は、トカンチンス日伯文化協会において2011年より会長を歴任されてきました。2015年には日伯外交関係樹立120周年記念第7回日本文化祭を実施し、2日間で1万5千人を集客し、州政府及び市政府と連携してイベントを成功に導きました。トカンチンス日伯文化協会は、同州において唯一の日系団体として、協会の活動を通して日本人及び日系人間の親睦強化に重要な役割を果たし、また日本文化祭りの開催を通じて日本文化を紹介するなど、その普及に貢献してきました。

改めて、この度表彰された方々の御功績に敬意を表し、また、御家族、御友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝し、お祝い申し上げます。

(了)